

【写】

25 福スポ少第58号

平成25年5月27日

各市町村スポーツ少年団本部長 様

公益財団法人福島県体育協会
福島県スポーツ少年団
本部長 星 本文



スポーツ少年団認定育成員および認定員の資格取得について（通知）

このことについて、スポーツ少年団指導者資格の取得・移行方法については、別紙のとおりとなりますので、貴スポーツ少年団所属の指導者へ周知いただき、希望がありましたら手続きをお願いいたします。

また、下記のとおり申請期限および認定日についてご注意ください。

記

1 認定育成員

- (1) 申請期限 随時受け付けます。
- (2) 認定日 申請を受けた日から2ヵ月程度

2 認定員

- (1) 申請期限 平成25年9月30日（月）
- (2) 認定日 10月1日または認定員養成講習会受講2週間後
（取得方法により異なります。）

3 その他

- (1) 「認定員の資格取得方法について」の1.（4）が今年度より変更になっておりますので、ご注意ください。
- (2) 日本スポーツ少年団「第9次育成5か年計画」では、平成27年度より「複数名の有資格指導者配置の義務化」を目指しております。つきましては、少年団活動の充実のため、単位団の登録にあたっては、2名以上の有資格指導者の登録についてご指導をお願いいたします。

事務担当 公益財団法人福島県体育協会スポーツ少年団係

TEL024-524-3833 FAX024-521-7971

スポーツ少年団「認定育成員」資格認定について

公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者資格を取得したスポーツ少年団指導者のうち、都道府県スポーツ少年団より推薦された者に対して、審査を行った上で、日本スポーツ少年団が「スポーツ少年団認定育成員」として認定します。

1. 推薦対象者

下記の条件を全て満たし、各都道府県スポーツ少年団本部長の推薦する者。

- ① 「認定育成員」として活動が期待される者
- ② 推薦時にスポーツ少年団に指導者登録している者
- ③ 公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者資格を有している者（指導者登録を行っている者）

＜該当する指導者資格の種類＞

競技別指導者資格	指導員、上級指導員 コーチ、上級コーチ 教師、上級教師
フィットネス資格	ジュニアスポーツ指導員 スポーツプログラマー フィットネストレーナー
メディカル・コンディショニング資格	スポーツドクター アスレティックトレーナー スポーツ栄養士
マネジメント資格	クラブマネジャー アシスタントマネジャー

2. 福島県スポーツ少年団への申請時期

随時受け付けます。（申請から認定までの期間の目安…2か月程度）

※認定期間…申請を受けた日から溯った直近の4月1日または10月1日から4年間となります。

3. 推薦に必要な書類

- ① 資格認定推薦書（別添様式参照） ※ 鑑文は必要ありません。
- ② 当該年度スポーツ少年団登録用紙（役職員登録名簿、指導者登録名簿…2号用紙）

※ サッカーの指導者資格を保有している場合は、日本サッカー協会発行の「公認指導者ライセンス認定証（写）」を添付してください。

4. 認定について

推薦された指導者については、日本スポーツ少年団にて、スポーツ少年団および公認スポーツ指導者の登録確認を行い、推薦書記載内容を審査の上、日本スポーツ少年団本部長名にて認定を行います。

【『認定育成員推薦書』の「市町村本部の意見（推薦理由）欄」について】

推薦対象者が今後「認定育成員」としてどのような活動ができるか、または期待されるか、明記してください。

- 主に各市町村スポーツ少年団において大きく貢献していること
顕著な実績と具体的な役職

「日本スポーツ少年団指導者制度」（抜粋）

単位団指導者の中核として、団の育成やその指導にあたり^①、また、市区町村・都道府県スポーツ少年団の組織指導者としてスポーツ少年団の普及、活動の活性化を図るとともに^②、認定員の資質向上と育成拡充に努めるものとする^③。

以上①～③について明確に記載されていない場合、推薦条件を満たしているかどうか判断できないため、推薦者を審査することができません。

②の該当例…市区町村スポーツ少年団役員・専門部会員等
都道府県スポーツ少年団役員・専門部会員等

③の該当例…認定員養成講習会講師
都道府県・市区町村で実施する認定員を対象に含む指導者研修会講師

※②については具体的な役割や立場を明記すること。

×市役員 ⇒ ○市軟式野球専門部会員

×県本部委員 ⇒ ○県本部委員（リーダー養成担当）

<審査できない例>

①氏は長年にわたり、〇〇スポーツ少年団（単位団名）の代表指導者として活躍しており、地域からの信頼が厚く認定育成員としてふさわしいため推薦する。

②氏は〇〇スポーツ少年団（単位団名）の中心として長年にわたり活動しており、〇〇市スポーツ少年団において中心的な役割を果たしている。

日本スポーツ少年団「認定育成員」推薦書

ふりがな 氏 名			生年 月 日	年 月 日 (歳)
住 所	〒 電話番号 (- -)			
職 業 勤 務 先				
単位団名	スポーツ少年団	認定番号 (ある方)	認 定 員 () K ()	
育成 指導歴 年	主な育成指導内容			
所有する公認スポーツ指導者資格 (競技種目: /) 登 録 番 号 [- -] 有 効 期 限 西暦 20 年 月 日 まで				
市町村本部の意見 (推薦理由を具体的に)				

◇添付書類◇

本年度スポーツ少年団指導者登録名簿「2号用紙・・・資格なし指導者用」(写)
日本体育協会公認スポーツ指導者資格 登録証 (写)

上記のとおり推薦します。

公益財団法人福島県体育協会
福島県スポーツ少年団
本部長 星 本 文 様

平成 年 月 日
スポーツ少年団
本部長 印

スポーツ少年団「認定員」資格取得について

1 取得方法

下記4つの方法があります。いずれもスポーツ少年団指導者登録が事前に必要です。

(1) 認定員養成講習会を受講し、検定試験に合格する。

認定員に認定されると日本体育協会公認「スポーツリーダー」の資格も付与される。

(2) 再認定の申請をする。

平成17年度以降にスポーツ少年団指導者登録ができず、認定員資格を失効した場合、再び指導者登録をすれば、所有するスポーツリーダーの資格を生かして再認定を申請することができる。

※平成16年度以前に資格失効となった方は対象外

(3) シニア・リーダーの資格を認定員に移行する。

シニア・リーダー資格を取得した団員が、満20歳以降も継続して指導者登録をした場合、本人の希望により移行申請することができる。

認定員に認定されると日本体育協会公認「スポーツリーダー」の資格も付与される。

(4) 日本体育協会公認指導者資格を生かし、義務研修を受講する。

日本体育協会公認指導者資格を取得した者が、スポーツ少年団指導者登録をした場合、所定の様式で申請することができる。

ただし、義務研修として、認定員養成講習会の講義「スポーツ少年団の理念と意義」および「スポーツ少年団の組織と運営」のカリキュラムを受講しなければならない。

＜該当する公認スポーツ指導者資格の種類＞

スポーツ指導基礎資格	スポーツリーダー
競技別指導者資格	指導員、上級指導員 コーチ、上級コーチ 教師、上級教師
フィットネス資格	ジュニアスポーツ指導員 スポーツプログラマー フィットネストレーナー
メディカル・コンディショニング資格	アスレティックトレーナー スポーツ栄養士
マネジメント資格	クラブマネジャー アシスタントマネジャー

2 申請期間 平成25年4月1日（月）～9月30日（月）

3 認定日 (1)、(4)は認定員養成講習会受講2週間後を原則とする。 (2)、(3)は10月1日を原則とする。

4 提出様式 取得方法(2) … 様式1 取得方法(3) … 様式2 取得方法(4) … 様式3

平成 年 月 日

公益財団法人福島県体育協会
 福島県スポーツ少年団
 本部長 星 本文 様

_____スポーツ少年団
 本部長 _____ 印

「スポーツ少年団認定員」資格再認定者の推薦について (申請)

今年度、当本部に指導者登録をしました下記の者は、____年度まで指導者としての登録を行うとともに「スポーツ少年団認定員」の資格も取得しておりました。

諸般の事由により活動から離れ、指導者登録をしなかったために、「認定員」の資格を失っていましたが、この度本人より、スポーツ少年団の育成活動に専心できる条件が整ったので、再び指導者登録をするとともに、認定員として単位団の指導・運営に積極的に携わりたいとの申し出がありました。

つきましては、「スポーツ少年団認定員」資格の再認定を認めていただきたく、関係書類を添えて推薦します。

記

ふりがな 氏 名	(歳)
住 所	〒 _____ 電話番号 (_____)
所属単位団	現単位団名： _____ スポーツ少年団 単位団番号： 07 - _____ 種 目： (_____)
旧認定番号 他	07 K (_____) 旧単位団名： _____ スポーツ少年団 所属の期間： _____ 年度から _____ 年度まで
所属団 代表指導者の 署名 (直筆)	上記の者が、所属していることを認めます。 代表指導者 氏名 _____ 印 _____

◇添付書類等◇

本年度スポーツ少年団指導者登録名簿「2号用紙…資格なし指導者用」 (写)

「スポーツ少年団認定員」資格移行申請書

ふりがな 氏 名		男・女	昭和・平成 年 月 日生 ※4月1日現在 (歳)
住 所	〒 — 電話番号 (— —)		
勤務先 ・ 学校名			
所属団	スポーツ少年団	活動種目	
シニア・リーダー資格取得	昭和・平成 年修了	認定番号	07S
団における 活動状況			
所属団 代表指導者 の推薦 (直筆)	平成 年度まで団員登録後、日本スポーツ少年団指導者制度3.(3) 及び日本スポーツ少年団リーダー制度4.(2)に基づき上記の者をスポ ーツ少年団認定員として推薦いたします。 _____スポーツ少年団 代 表 _____ 印		

◇添付資料◇

本年度スポーツ少年団指導者登録名簿「2号用紙…資格なし指導者用」(写)

上記の者をスポーツ少年団認定員として推薦いたします。

公益財団法人福島県体育協会
 福島県スポーツ少年団
 本部長 星 本 文 様

平成 年 月 日
 スポーツ少年団
 本部長 印

「スポーツ少年団認定員」資格認定申請書

ふりがな 氏 名		男・女	昭・平 年 月 日生 () 歳
自宅の住所	〒 — 電話番号 (— —)		
所属単位団	単位団名 (スポーツ少年団) 単位団番号 (07 — —) 活動種目 ()		
公認資格名			
公認資格番号			
団における 活動の状況 (自 書)			
所属単位団 指導者から の推薦事由	_____ 代表指導者 _____印		
義務研修 受講会場	スポーツ少年団の理念とその意義	会場	
	スポーツ少年団の組織と運営	会場	

◇添付書類等◇

本年度スポーツ少年団指導者登録名簿「2号用紙…資格なし指導者用」(写)

日本体育協会公認指導者資格「認定証」(写)

上記の者は、義務研修を受講することを確約いたしますので、「スポーツ少年団認定員」資格認定について、推薦いたします。

公益財団法人福島県体育協会
福島県スポーツ少年団
本部長 星 本 文 様

平成 年 月 日
スポーツ少年団
本部長 印